

第2章 計画策定の背景とめざす姿

1 スポーツ推進の意義と役割

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求にこたえとともに、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらし、さらには、体力の向上や精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進に資するものです。

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利です。また、スポーツは、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、我が国の国際的地位の向上等国民生活において多面にわたる役割を担っています。このため、今後のスポーツの推進に当たっては、体を動かすという人間の本源的な欲求にこたえ、精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすというスポーツの内在的な価値とともに、前述のようなスポーツが果たす役割を常に念頭に置く必要があると考えます。

また、スポーツの意義や価値を共有し、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち、互いに支え合う「新たなスポーツ文化」の確立をめざしていくことが必要です。

2 本県スポーツの現状

(1) スポーツを取り巻く環境

少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進んだほか、国際的な協力・交流が活発になるなど社会環境や価値観は急激に変化しています。

さらに、スポーツ界では、ガバナンスの向上やドーピング防止、スポーツ界の透明性、公平・公正性の要請が高まるとともに、プロスポーツ及び障がい者スポーツの発展等、大きな環境変化が生じています。

このような中、本県においては、ラグビーワールドカップ2019の開催準備や、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致などに取り組んでおり、この機を逃すことなく、改めてスポーツの価値を見つめ直し、スポーツを通じた活力ある大分県づくりに踏み出す必要があります。

また、県内には多くのトップチームが存在し、年間を通じてホームゲームが開催されるなどの恵まれた環境にあります。このような国内トップレベルの技術に触れる機会やゲームを運営する機会を活用し、「みる」「ささえる」といったスポーツの価値観の普及や定着を図ることで、更に多くの県民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営む社会の実現に努める必要があります。



【ラグビーワールドカップ2019大分県開催決定(平成27年3月2日)】

(2) 県民のスポーツ実態と意識

平成25年度の「県民のスポーツに関する実態調査」(以下「スポーツ実態調査」という。)によると、全体の84.1%が「する」「みる」対象としてスポーツに好意的な意識を持っており、前回調査での数字と大きな変化はありませんでした。

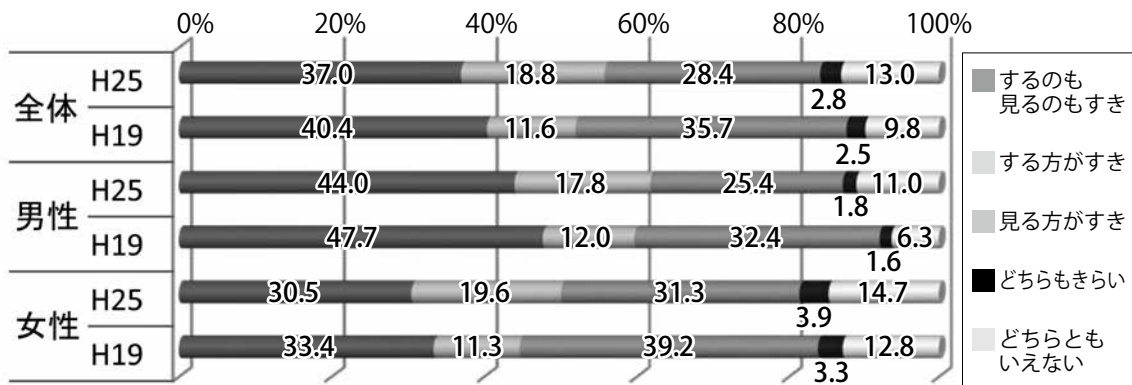


図1 運動・スポーツ活動に対する好き嫌いの意識

また、成人の週1回、30分以上の運動・スポーツの実施（以下、「定期的な運動・スポーツの実施」という。）率は40.5%で、平成19年度調査の29.8%より高くなっているものの、国の目標値（65%程度）と比較すると、依然低い状況にあります。

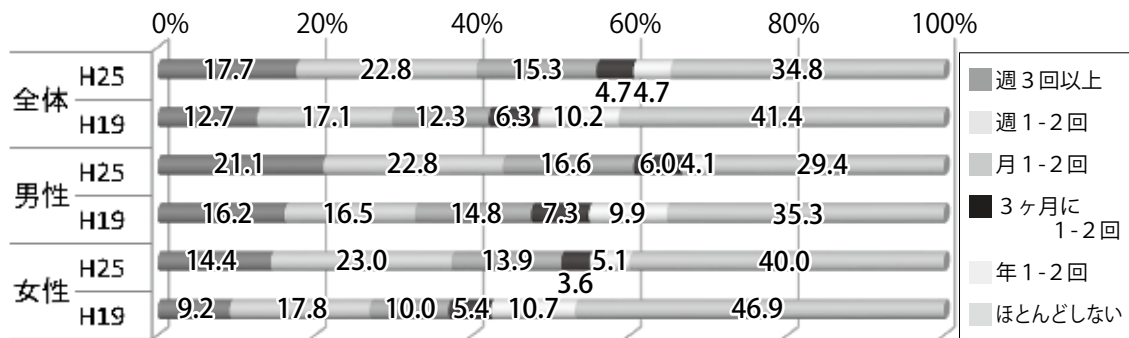


図2 運動・スポーツ活動の実施状況

一方、定期的な運動・スポーツの実施を希望している成人は70.6%で、前回調査（52.3%）よりも県民の運動・スポーツ活動に対する意識は高まっていることがわかりました。

また、日常生活の満足度と運動習慣の関連性では、日常的な運動習慣を有している人ほど、生活に対する満足感、幸福感、生きがいの程度が高い状況（図3、図4）にあることから、「明るく元気な大分の創造」を実現させる上で、スポーツの推進は重要な要素であることがわかりました。

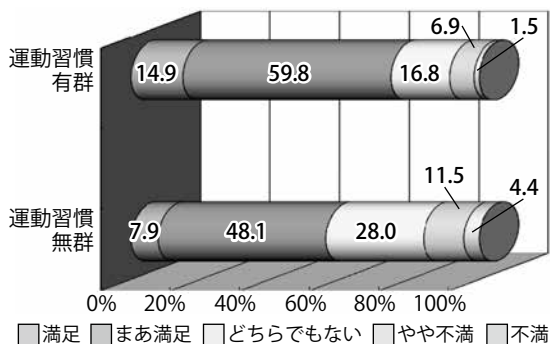


図3 日常的な運動習慣と「生活に対する満足度」 (% p<.001)

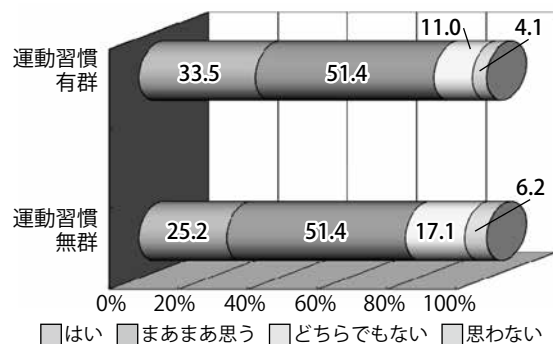


図4 日常的な運動習慣と「幸福感」 (% p<.001)

(3) これまでの取組の成果や現状

①スポーツを通じた“健康・体力・人づくり”

- 本県児童生徒の体力では、平成27年度の体力合計点から見る全国順位が、小5男子8位、小5女子10位、中2男子11位、中2女子23位となるなど、改善が見られます。
- 競技力では、国民体育大会の天皇杯順位をみると、平成24年19位、平成25年22位、平成26年28位、平成27年25位と、ここ数年間は20位台で推移しています。

②誰もがスポーツに親しめる“活動の場づくり”

- 日常的なスポーツ活動の場となる総合型クラブは、平成27年7月時点で42クラブとなり、全市町村に1つ以上が育成され、県民の約1.4%にあたる16,866人が様々な活動に参画しています。
- 県民体育大会や県民すこやかスポーツ祭は、それぞれ約1万人が参加するスポーツイベントとして毎年の開催が定着し、地域間交流や地域の活性化に貢献しています。

③スポーツを推進する“システムづくり”

- 平成25年に、本県を中心とした北部九州4県（福岡県、佐賀県、長崎県）で、「北部九州総体」を開催し、全国から約2万7千人の高校生を迎え、29競技を実施しました。
- ラグビーワールドカップ2019の開催準備や、東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ・国際大会等の誘致に取り組んでいます。
- 県内では、多くのトップチームが活動していますが、いずれかのチームを試合会場で観戦したことのある県民は2割に満たず、スポーツ振興に十分活用できていない状況です。

④豊かなスポーツライフを支援する“基盤づくり”

- 総合型地域スポーツクラブ（以下、「総合型クラブ」という。）関連では、県の実施する事業の一部を総合型クラブおおいたネットワークに委託するなどの取組を行っていますが、各種施策を更に充実させるためにも、行政組織間の連携や各種スポーツ関係団体との一層の連携が必要です。
- 県立武道館建設への県民ニーズの高まりや、県立総合体育館の中核スポーツ施設としての機能低下から、県立屋内スポーツ施設の建設に向け事業を推進しています。



【和歌山国体で優勝した本県少年種別の選手】



【県民すこやかスポーツ祭の様子】



【県民すこやかスポーツ祭 20周年記念事業「すこやかスポーツデー」(武術太極拳)】



【総合型クラブおおいたネットワークへの委託事業(大分県総合型クラブマネージャー養成初級講習会)】

3 スポーツ推進の基本的な考え方

(1) スポーツ推進の基本方針

「大分県スポーツ推進計画（改訂版）」は、県民総参加、スポーツ力を高め、明るく元気な大分の創造という基本理念に基づき、「年齢や性別、障がい等を問わず、広く県民が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること」を中心の政策課題とし、今後5年間を見通したスポーツ推進の基本方針を以下のとおり設定することとしました。

- ①子どもの体力向上、人格の形成に積極的な影響を及ぼし、次代を担う人材を育成するため、子どものスポーツ機会を充実する。
- ②健康長寿・生涯現役社会を実現するため、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。
- ③地域の一体感や活力を醸成し、地域社会の再生に貢献するため、住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備する。
- ④県民に感動と夢を与え、社会に活力を生み出すため、ラグビーワールドカップ開催をはじめとする国際大会の誘致やプロスポーツの振興に取り組む。
- ⑤競技力の向上に向けた人材の育成やスポーツ環境の整備により、地域から優れたスポーツ選手が輩出され、その選手が地域におけるスポーツの推進に寄与するというスポーツ界の好循環を創出する。

(2) スポーツ推進方策の4つのテーマ

前項の基本方針に基づく施策の実施にあたっては、本県におけるスポーツ推進の経緯なども踏まえ、取組の継続的かつ円滑な展開が可能となるよう4つのテーマごとに具体的な取組を設定することとしました。

①スポーツを通じた“健康・体力・人づくり”

県民の誰もがそれぞれのライフステージにおいて、日常的にスポーツに親しむことは心身ともに健康で、生涯をより豊かに生きていく上で大切なことです。また、トップレベルの競技者やその指導者たちが、技能を高め記録に挑戦する姿は、県民に大きな夢と感動を与えてくれます。

また、子どもたちは、学校や家庭、地域のスポーツクラブ等での遊びや様々な活動を通して、スポーツの楽しさや喜びを体験することにより、体力や運動能力が向上するとともに、仲間との触れ合いを通して、豊かな社会性や人間性が養われます。



【大分県スポーツ少年団駅伝交流大会】

②誰もがスポーツに親しめる“活動の場づくり”

地域住民の日常的なスポーツの場となる総合型クラブの創設・育成や各種スポーツイベントの充実、また、地域の特性を活かした多様なスポーツの場を整備することにより、県内外から多くの人々が訪れ、スポーツを通して交流の輪が広がり、地域の活性化が図られます。

また、学校のスポーツ施設が、地域のコミュニティースペースとして有効に活用されることにより、学校、家庭、地域の連携が図られるとともに、地域の教育力向上にも寄与することが期待されます。



【世界一短い徒競走（南立エンジョイ倶楽部）】



【J2リーグ2015シーズン第11節 大分トリニータ対徳島ヴォルティス(写真提供 ㈱大分フットボールクラブ)】

③スポーツを推進する“システムづくり”

大規模スポーツイベントを計画的に開催することは、県民のスポーツに対する興味・関心を高め、競技力の向上に資するとともに、地域の活性化やスポーツボランティア活動の推進に寄与することが期待されます。

また、多様化する県民のニーズに対応したスポーツ情報を収集・提供することは、県民のスポーツ実践のきっかけづくりにもつながります。

さらに、本県では、地域密着型のプロ、あるいは国内トップをめざす企業チームが創設されています。こうした「みるスポーツ」の推進は、「するスポーツ」「ささえるスポーツ」の活性化へとつながり、本県スポーツの推進にも大きく貢献するものです。今後も引き続き「みるスポーツ」の推進を図り、トップレベルのチームの活動の定着と活性化を図ることが重要です。

特に、ラグビーワールドカップの開催など、トップアスリートの試合を観戦する機会の提供は、交流人口の拡大や経済活性化など幅広い効果が期待できます。

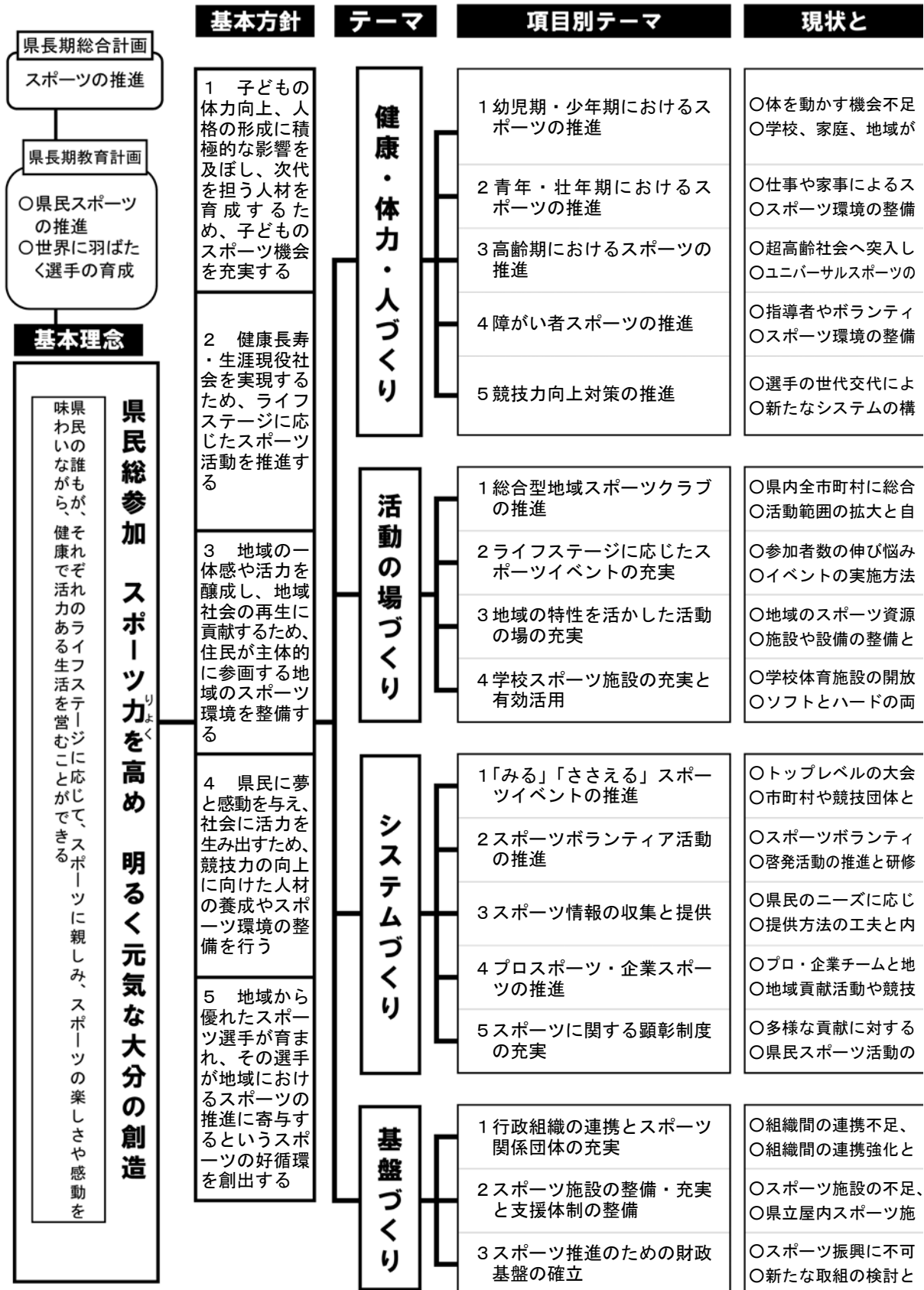
④豊かなスポーツライフを支援する“基盤づくり”

スポーツの推進に係る行政組織の連携・協力した取組や、スポーツ関係団体の充実した活動は、県民の豊かなスポーツライフを支援する上で不可欠です。

そのため、県民の日常的なスポーツの場や大規模スポーツイベントの会場となる本県の中核スポーツ施設とスポーツ活動の支援体制の整備・充実が求められています。

また、長期的な視点に立ったスポーツ推進施策を展開するには、安定した財政基盤の確立が必要です。

「大分県スポーツ推進計画 改訂版」～チャレンジ！



おおいた スポーツプラン2016～」体系図

課題	目標	具体的な取組（抜粋）
等による体力の低下 連携した取組の推進	○外遊びやスポーツに親しむ習慣を身につけた、元気でたくましく生きる子どもの育成	○幼児期から子どもの体力向上の方策の推進 ○学校体育の充実 ○運動部活動の充実 ○子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実
スポーツ実施者の減少 と主体的な取組の推進	○定期的に運動やスポーツに親しむ青年・壮年の育成	○地域や職場におけるスポーツの推進 ○総合型地域スポーツクラブへの加入促進
医療費等が増加 普及と専門指導者の養成	○健康でいきいきとした元気な高齢者の増加	○高齢者の健康・体力づくりの推進 ○指導者の養成とプログラムの普及 ○健康・体力づくりなどの情報提供
アの不足 と交流機会の創出	○障がい者スポーツの推進による障がい者の社会参加の促進	○障がい者のスポーツ機会の拡充 ○障がい者のスポーツ環境の整備 ○障がい者スポーツの競技力向上
る国体での順位低下 築による競技力の維持	○国際大会や全国大会で活躍できるトップレベルの競技者の育成	○組織の整備・充実 ○指導体制の充実・強化 ○選手の発掘・育成・強化 ○諸条件の整備
型クラブを創設 立的運営及び経営	○スポーツを通じて「新しい公共」を担う総合型クラブの育成	○公共性の向上に向けた市町村の取組への支援 ○組織の充実・整備・NPO法人格の取得
や年齢層の偏り や広報活動の充実	○スポーツに親しむ県民の増加や地域の活性化に寄与する身近なイベントの開催	○少年期のスポーツイベントの充実 ○青年・壮年期のスポーツイベントの充実 ○高齢期・障がい者のスポーツイベントの充実
の活用が不十分 広報活動の充実	○県内外から人々が集い、活動し、交流できる地域の特性を活かした場の充実	○豊かな自然を活かしたスポーツ活動の場の整備 ○天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供
と情報提供が不十分 面にわたる整備充実	○地域住民が気軽に運動やスポーツに親しみ、交流できる場となる学校の推進	○学校体育施設・設備の整備・充実 ○学校体育施設開放事業の推進
開催機会の不足 連携した取組の推進	○県民のスポーツへの興味・関心を高める大規模スポーツイベントの開催	○国際大会や全国トップレベルの大会の誘致 ○スポーツツーリズムの推進
アへの意識の低下 ・活用システムの構築	○ボランティア参加者の発掘・育成と活動の場の拡大の推進	○スポーツボランティアの啓発 ○スポーツボランティアの発掘と育成 ○スポーツボランティアの活用
た情報提供が不十分 容の充実	○効果的に情報提供を行うシステムの構築と情報の充実	○スポーツ情報提供システムの構築 ○報道機関と連携した情報提供の充実
域をつなぐ取組が不十分 力向上の推進	○プロや企業チームと地域の協働関係の構築と地域貢献活動の推進	○トップスポーツの推進 ○県民のトップスポーツ観戦の推進 ○地域貢献活動の推進
情報発信が不十分 励みとなる制度の整備	○県民の幅広いスポーツへの支援活動を推進する顕彰制度の充実	○スポーツボランティア等に関する顕彰制度の充実 ○市町村における顕彰制度整備の推進
団体の活動が不十分 関係団体の取組推進	○行政組織間の連携・強化とスポーツ関係団体の充実	○横断的なスポーツ推進体制の整備 ○スポーツ関係団体の整備・充実
支援体制が不十分 設、支援体制の整備	○県民のスポーツ拠点となる施設の整備 ○県民のスポーツ活動を支える支援体制の整備	○県立スポーツ施設の整備・充実 ○スポーツセンター機能の整備
欠な財源の確保 財源の有効活用	○安定した財源の確保による財政基盤の確立と限られた財源の有効活用	○協賛企業とのパートナーシップの創出 ○助成事業等の積極的な活用